

## 議 事 録

### **事務局**

皆様、今日は、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

雪も落ち着いて、暦も2月が過ぎようとしております。3月まで降る雪もありますが、あとは落ち着くのではと思っております。お集まりの皆様には、各施設の雪にご苦労されたのではないかと感じております。

それでは、ただいまから、平成29年度第4回新庄市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。次第に沿いまして進めさせていただきます。

まず1番の会長あいさつということで、会長の方からご挨拶を頂戴いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

### **会長**

皆様、お忙しいところ平成29年度第4回新庄市子ども・子育て会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。会長ということであいさつとなっておりますが、皆様ご存じのとおり、前回の会議に不都合がありまして、来ることができなくなりましてすみませんでした。従いまして、皆様とお目にかかるのは、今日が初めてということでよろしく願いいたします。

事務局の方から資料を頂戴いたしまして見てきたのですが、国の新しい制度のいろいろな子ども子育てに関する動きが非常に急がれている感じになっていまして、たいへん良いことではないかと思っております。

それに基づいて、これまで皆様が活発なご意見を議論されてきた様子が、いただいた資料から見えましたので、たいへんありがたいことだと思っております。

今回は、新庄市の国の制度による計画の中間改訂の最終形というかたちに至ると思っておりますが、最後までご意見ご指導を頂ければと思っております。そして、新庄市の未来の子育てに大いに資することができるような計画にしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

### **事務局**

どうもありがとうございました。

それでは、次第の2番にあります副会長選出でございますが、新庄市子ども・子育て会議条例第6条第2項により、副会長は会長が指名するとなっておりますので、会長よりご指名いただきたいと思っております。

## 会長

副会長は、新庄市区長協議会から推薦されました佐藤周一委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。ご承認ください。

## 事務局

ありがとうございます。

それでは、ただいま、会長の方からもありましたが、副会長につきましては、名簿の2番になります、新庄市区長協議会理事の佐藤周一様をお願いすることになります。

本日、当初出席の予定でしたが、風邪をひいてしまったということでございまして、急きょ欠席になっております。佐藤委員につきましては、その旨ご内諾を頂いておりますので、併せてご紹介したいと思います。

それでは3番の協議に進めさせていただきます。協議の進め方につきましては、新庄市子ども・子育て会議条例第7条第1項の規定によりまして、協議の議長は会長が務めるという定めがございますので、会長様の方から進めていただくということでどうぞよろしくお願いいたします。

## 会長

それでは、しばらくの間進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3番の協議に移ります。(1)事業計画の見直しの確認について 資料1-1・2について事務局からご説明お願いいたします。

## 事務局

((1) について説明)

## 会長

今事務局から修正になった点と確認ということで数値をあげていただきましたが、これに関して皆様からご意見とかご質問ありましたらお願いいたします。  
はい。〇〇委員お願いいたします。

## 〇〇委員

いろいろな数字が並んでいますが、量の見込みと確保の内容ということで、1年目2年目3年目は事業が終了しているということで実績値が書かれていると思いますが、この部分で量の見込みという所と確保の内容の所が同じ数値になっているところに違和感を感じたのですが、元の計画と量の見込みというのは別の数値になっています。あくまでも量の見込みは、元の数値を書くのではないですか。

## 事務局

今年度見直しなので、中間評価を実施し、27年度から29年度の実績を出しまして、改訂版にはその実績から量の見込みを見直しましたので、量の見込みは、元の数値と違っております。

## 〇〇委員

終わったものに関しては見込みではないと思います。確保の内容は、実績値でいいと思いますが、量の見込みも実績値と同じというのは違和感があったのですが。

## 事務局

量の見込みを全部確保したということを表したいので、このように表記させていただきます。

## 〇〇委員

わかりました。

## 会長

ほかにありませんか。

はい。〇〇委員お願いいたします。

## 〇〇委員

7ページ養育支援訪問事業ですが、養護相談、保健相談、障害相談とか書かれています。平成25年度29名で不登校相談が入っていますが、何課で把握しているのでしょうか。25年度以降今現在増えている状況の中で、これからの子どものことを考えると重点的にやっていかなければならないと考えます。小学生でさえも死にたくて訪問に入って、安否確認している状況なので市とし

でも動き出さなければならぬのではと思います。

## 事務局

7ページの平成23年度、24年度、25年度の数值は、子育て推進課の方で相談を受けている中での項目別にしたものです。〇〇委員の意見を聞きまして、32年度からの新しい事業計画の方で考えていかなければならないと思いますので、その時に一緒に考えていきたいと思っています。ありがとうございました。

## 会長

ほかにありませんか。

はい。〇〇委員お願いいたします。

## 〇〇委員

15ページ実費徴収に係る補足給付を行う事業で、実績なしということですが、お母さんたちはどのくらい分かっているのでしょうか。疑問があります。たぶんこのような制度があれば、使いたい家庭もあるのではと思います。この事業は全国的に始まっていて、山形県でも鶴岡、酒田の方で始まっているのですが、病児に関しては、1,000円負担しますとか、その家の収入によって一部負担しますというような形も入っていますので、将来的に教材費、行事参加費だけでなく、一時預かり的なものに対しても助成していただければ助かると思います。

## 会長

このようなご意見、ご希望ですが、いかがですか。

## 事務局

この事業につきましては、評価の時に説明させていただいたのですが、対象者をどのようにするかの所がまだ決まっていないので、これから話を進めていくうえで、〇〇委員からの意見を考えていきたいと思っています。

## 事務局

補足ですが、今後平成31年度から保育料無償化という動きが国の方でありまして、このような低所得者への補助と言いますか、今後積極的に考えていかなければいけないかと思っていますので、この事業そのものが、新庄市の方では今の段階では、検討段階ということで実績がないという表記になっておりま

す。

## 会長

ほかにありませんか。

はい。〇〇委員お願いいたします。

## 〇〇委員

15ページ多様な事業者の参入を促進する事業ということで、新規とありますが、企業型保育ということがすごく新聞とかで取り上げられてますし、実際に私も今度やるという人に話を聞いたことがあって、これも実績はないかもしれませんが、現実などころではどのようなものでしょうか。

## 事務局

多様な事業者の参入を促進する事業という全体の中では、たとえば経営コンサルタント、税理士さん等をかかえて、多方面からのアドバイスをしながらこういった保育の業務を新庄市で行っていきませんかというような積極的に事業が促進する事業になっています。

今、〇〇委員がおっしゃったような企業主導型保育事業につきましては、今、2箇所からお話を頂いております。実際に30年の5月を開所予定しているのがこらっせの中にあります。あともう一つは、工業団地にできる予定ですが、これも30年秋というようなことを聞いております。いずれも従業員の方を対象にした企業主導型保育事業所ですけれども、こらっせの方につきましては、地域枠といいまして、従業員のほかに近隣市町村を対象とした受け入れも行うということになってます。

## 〇〇委員

企業型保育が認可を受けているところよりも審査が甘いかかそういうことはないですか。市の方の審査とか、監査とか同じですか。

## 事務局

保育施設は、国の事業でもありますので、保育士の数とか、面積ですとか、基準に則った形でつくられます。

## 会長

市で許可するとかではなくて、国で許認可となりますか。

## 事務局

企業型につきましては、特殊なもので国でつくった協議会というものがありまして、その協議会の審査を受けて整備していくこととなります。

## 会長

市であまり関わりを持つことができないということですか。

## 事務局

できあがって運営していくうえで、たとえば県の方の扱いとしては認可外保育所のような扱いになりますので、書類の整備ですとか、こちらのお子さんの受け入れについて、情報を仕入れながら対応していきたいと思います。

## 〇〇委員

ありがとうございます。

## 会長

それでは、(1)については、このようなところでよろしいですか。

(全員了承)

## 会長

次に(2)特定教育・保育施設等の利用定員の設定に係る意見聴取について資料2について事務局からご説明お願いいたします。

## 事務局

((2)について説明)

## 会長

皆様にご意見を頂くということですので、このような設定でよろしいですか。是非ご意見を出していただきたい。どうですか。よろしいですか。

(全員了承)

## 会長

このような形で今後ずっと進んでいくことになると思いますので、よろしくお願ひいたします。

次に（3）平成30年度子育て推進課事業（重点事業）の概要について 資料3について事務局からご説明お願ひいたします。

## 事務局

（（3）について説明）

## 会長

30年度も予算化されたということですが、重点事業として、今説明があつたように計画されていますが、実施するにあたってのお願いとかあつたら言つていただきたいと思います。

はい。〇〇委員お願ひいたします。

## 〇〇委員

4の乳幼児時期からの特別支援活動事業関連ということでお聞きしたいと思ひます。乳幼児時期からの特別支援活動事業ということがあるのですが、子どもを産んで、障害があるというのがわかつて、そこの段階でお母さんたちは奈落の底に落とされる。それでどうしようかと不安の中にある訳ですが、本当はその辺の所から私たちの方でやっている児童発達支援事業というのが必要と思ひます。たいていお母さんたちは自分の子どもの育て方が分からない。関わり方が分からないところで、愛着形成とか、その母子関係とかという所でかなり積み残しというか課題を残していく。ですからその辺のところに、積極的な情報収集、そこは個人情報ということがすごくかかわってくるのでとてもむずかしい。生まれました、障害がありますと分かつた時のお母さんたちの関わり方アプローチをもっともっとそういう関係機関を使って、そして、させてもらいたいと思ひます。お母さんたちが安心してその子どもに関わつていいんだとか、自分の子どもに障害があるというとお母さんが拒否されているような感じになるお母さんがいらつしゃる。ですからお母さんがこの子を産んでよかつたと思えるようなそのような愛着形成という所に持つていくためには、そこらへんの流れが必要で、私達の壁は、どこにどんなお母さんが、こまつているお

母さんがいるかわからないという中で、出会った時には、いろんな不適応な行動をしている状況の中で出会う。でも本当はそこに障害があると分かった時に、そこで出会えて、お母さんの心のケアというか、お母さんが安定して、自分の子どもを育てようと向き合うことができれば、たいていの課題は、その後の課題は解決できる。そこの最初の原点の所をもう少し情報収集という所で、民間で個人情報を出せないとおっしゃられるかもしれないですがもっともっと活用してほしいと思います。そこらへんはむしろ嬉しい所だと思います。そこの原点たった一つの原点ですけども、私はこの子を産んでよかったと思えるお母さんになるためには、やはり民間ですが活用していただいたらうれしいと思います。

## 事務局

積極的な情報収集の中には、どんな方策があるのか。あとは市町村自治体がどのような関わり方をしているのか。やりかたを取っているのか。こちら側も勉強するというのも情報収集としてこの中に含まれていると思っていただきたいと思います。それから、やはり先ほどおっしゃった情報収集ということですが、情報収集と言いますかやはり把握するという意味、たとえば健康課でやっている健診ですとか、そんなところを通して、できる限りうちの課の方に配置されています養護主事との関連をもっと強くして、必要な養育ですとかそういったところにつなげていく、あるいは、相談・アプローチをして、こういう所もあるという所を話していくというような情報収集の逆の情報提供、そんなところも考えているところでございます。

## 〇〇委員

今障害福祉サービスの中に相談事業所というものがきちんと成人福祉課の中にあるわけです。だからそこにつなげる。それがお母さんから発信するのか。行政の方から発信するのか。そこらへんが個人情報があつて難しいと思いますが、ただ、お母さんが安心してこの子を育てられるという安心感そこだけです。そこがあれば子どもって育っていきます。だから他称自称と言う前にお母さんの安定というものを考えたらやはりつなげてほしい。情報収集の中の情報収集はします。でもそこを収集だけしてつなげていかなければ何もならない。情報収集はすごく大事だと思いますが、そこからお母さんに寄り添って、一緒にやっっていこうという流れを是非作ってもらいたいと思います。

## 事務局

ただ今お話がありました母子、お母さんと子どもについて、私ども健康課で



事業としてやっておりますが、冒頭（１）事業計画の見直しの確認についての資料１－２の中で母子保健型事業を平成３０年度から、健康課保健師が、妊娠期から子育て期にわたり母子保健や子育て支援を行っていくかたちになっています。妊娠期から出産した段階でお子さんが、委員のお話にあった状況で、子育てに対する不安なり相談したいという部分があれば、私どもで請け負っていきたいと思っておりますが、資料１－２の文章だけでは具体的にどうするのだという部分が見えてこないと思っております。４月から子育て世代包括支援センターを健康課に設置し、その中で保健師が母子保健コーディネータという職名で、資料１－２の①②に書いてありますが、③で妊娠しているお母さん、出産後のお母さんについて、どう支援したらいいか、コーディネータが支援プランを作成し、母子の健全な育成を担っていきたいというかたちで、４月からは、妊娠期から子育て期までの間で、母子の不安なりを解消していく仕組みを構築していきたくと思っております。先ほど事務局が申し上げたとおり、妊娠段階で妊婦さんに健診、相談、伺った際に、心配あればその段階から出産後も、子育てにわたる段階まで、ずっと継続した形で支援、相談、助言、提供を行っていきたくという意味合いでの子育て世代包括支援センターの４月からの設置でございます。因みに国方針では、子育て世代包括支援センターを平成３２年度まで全国の自治体に設置しなさいと努力義務を課せられているところでございます。新庄市は、３０年度の４月から設置するわけですが県内で新庄市以外の１２市は、既に設置しているということで、新庄市が一番最後尾ということになっておりまして、大変恥ずかしい話ではありますが、４月からは頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

## 〇〇委員

包括支援という部分で事業に入れられないでしょうか。子育て支援施策関連の中に子育て世代包括支援事業というかたちで入れたらどうでしょうか。

## 事務局

この資料は子育て推進課事業としてまとめたものです。全体の事業としては取り組ませていただきます。

## 会長

是非お願いいたします。よろしいでしょうか。

（全員了承）

## 会長

それでは、(4)平成30年度スケジュールについて 資料4についてお願いいたします。

## 事務局

((4)について説明)

## 会長

変更もあり得るということですので、是非ご理解、ご了承願いたいと思います。

(全員了承)

## 事務局

会長議長ありがとうございました。それでは4番その他、委員の皆様からございませんか。よろしいですか。

## 事務局

長時間にわたりまして、ご協力ありがとうございました。この子ども・子育て会議の計画に係る部分については、子育て推進課、健康課ということで事業がある訳ですが、今後も引き続き、ご指導を頂戴できればと思います。また私たちの持っている情報で、聞きたいことがあれば遠慮なく、お問い合わせいただければ対応させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

それでは、これをもちまして、平成29年度第4回新庄市子ども・子育て会議を終了させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。